B5FH-5811-01 Z2

FUJITSU FM SERIES PERSONAL COMPUTER

FMV-LIFEBOOK

ワイヤレス LAN をお使いになる方へ（IEEE802.11b 準拠）

FUJITSU

目次

第 4 章　付　録

はじめに

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、ワイヤレス LAN（IEEE802.11b 準拠）をお使いになるための設定について説明しています。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2002 年 4 月

お客様へのお知らせ

■ ワイヤレス・インタオペラビリティ

本パソコンは、直接スペクトラム拡散方式（DS-SS：Direct Sequence Spread Spectrum）無線テクノロジーを基礎とするワイヤレスLAN製品との相互通信システムの協調を実現するように設計されています。また、ワイヤレス LAN 製品の相互接続性を検証する「WECA（Wireless Ethernet Compatibility Alliance）」が定義する、ワイヤレスLAN標準の「Wi-Fi」に準拠しております。

■ 電波放射の環境への影響

・本パソコンは、他の高周波デバイス同様に、高周波エネルギーを放出していますが、本パソコンが放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。
・本パソコンは、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本パソコンの使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
・ある状況や環境において、本パソコンの使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記に挙げる場合です。
　- 他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
・特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確に分からない場合は、機器の電源を入れる前に本パソコンの使用許可について問い合わせをしてください。

■ 電波放射の人体への影響

本パソコンから放射される出力パワーは、FCC 電波放射限界よりはるかに低くなっています。それでも、本パソコンは、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中はパソコン本体のアンテナ部分に極力触れないでください。
アンテナについては、パソコン本体のマニュアルの「各部名称」をご覧ください。

■干渉に関する注意事項

・本パソコンは、高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射します。
・本書に従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
・本パソコンがラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（本パソコンの電源を入／切することで原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
  - パソコン本体と受信機の距離を離す
  - 受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントにパソコン本体を接続する
  - 経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
・本パソコンの不正な改造は行わないでください。
・本パソコンの不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任を負いません。
・他の無線機器も同じ周波数帯を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してお使いください。

この機器の使用上の注意

2.4DS4

・上記表示のある無線機器は2.4GHzを使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。
・この機器の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他のワイヤレスLANシステム、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  - この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
  - 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
  - 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお申しつけください。

■認定番号について

本パソコンは、電波法、および電気通信事業法による技術基準認定を取得している、次の認定番号の機器を内蔵しています。

認定番号	A01-0994JP 01NYDA1128（〔NA〕〔MR〕） 01NYDA1083（〔MG〕〔LS〕） 01NYDA1039（〔MC〕）

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重 要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■画面例について

本書に表記されている画面は一例です。お使いの機種やディスク、データの種類によって、画面の一部やファイル名などが若干異なる場合があります。ご了承ください。

■製品の呼び方

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows® XP Home Edition 、および Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	Windows
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	

※：Windows XP/2000 のように併記する場合があります。

■機種名表記

本文中の機種名を、次のように略して表記します。
なお、本書ではお使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。

機種名	本文中の表記	
FMV-7000NA2	〔NA〕	本パソコン パソコン本体
FMV-7160MR2	〔MR〕	
FMV-6100MG2、FMV-610MG2	〔MG〕	
FMV-665MC2	〔MC〕	
FMV-273LS2/WL	〔LS〕	

第 1 章

お使いになる前に

ワイヤレス LAN 機能をお使いになる前に、必ずお読みください。

1 概要

ここでは、ワイヤレス LAN 機能の特長、およびワイヤレス LAN を使用してできることを説明します。

ワイヤレス LAN 機能の特長

主な特長は、次のとおりです。

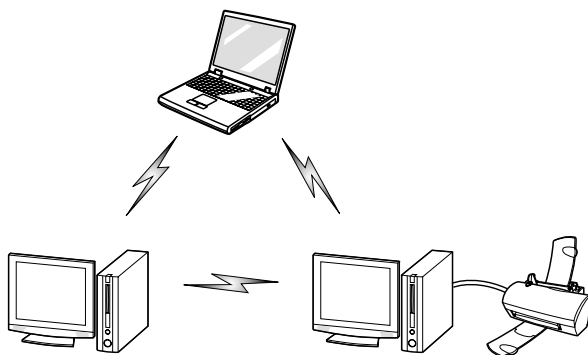
- 2.4GHz 帯の小電力通信システムを使用しているため、無線免許が不要です。
- ノイズに強い直接スペクトラム拡散方式（DS-SS）を採用しています。
- Wi-Fi に準拠し、無線上で通信速度最大 11Mbps の通信が可能です。
- ネットワーク名（SSID）およびネットワークキーにより、部外者による侵入を防ぐことができます。

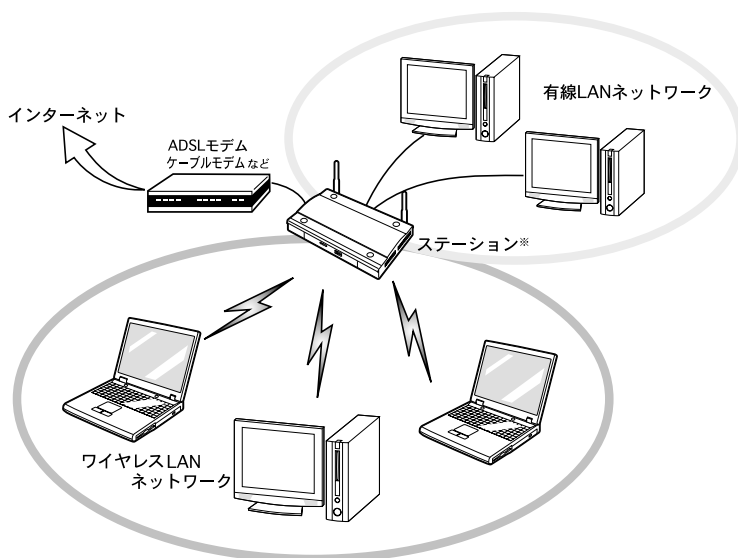
本パソコンでのワイヤレス LAN ネットワーク

本パソコンで接続できるワイヤレス LAN ネットワークには、「アドホックワイヤレス LAN ネットワーク」と「インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク」の 2 種類あります。

■アドホックワイヤレス LAN ネットワーク

ワイヤレス LAN 機能を搭載したパソコン同士のネットワークを、「アドホックワイヤレス LAN ネットワーク」といい、この場合の接続方法を「アドホック接続」といいます。
この機能を使うと、Microsoft ネットワークがサポートする「ファイルとプリンタの共有」などの機能を利用して、ファイル交換や、プリンタの共有ができます。
アドホックワイヤレス LAN ネットワークを利用するためには、接続するすべてのパソコンのネットワーク名（SSID）とネットワークキーを、同じ設定にします。ワイヤレス LAN 接続に使用するチャンネルの設定がある場合は、チャンネルも同じ設定にします。通信を行うパソコン同士が、お互いの通信可能範囲内にあれば通信ができます。アドホック接続によって、簡単で低コストのネットワーク接続が実現できます。

次の図は、アドホックワイヤレス LAN ネットワークの接続例です。

■インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク

別売のワイヤレスブロードバンドルータなど、ステーションと呼ばれる一種のハブを利用したネットワークを、「インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク」といい、この場合の接続方法を「インフラストラクチャ接続」といいます。
この機能を使うと、ステーション経由で有線 LAN に接続したり、ブロードバンドインターネットに接続したりできます。
ステーションについての詳細は、ステーションのマニュアルをご覧ください。
次の図は、ステーションを使って、ワイヤレス LAN ネットワークを有線 LAN ネットワークに接続した場合の接続例です。

※：ステーションによっては、別途有線ネットワーク用のハブが必要な場合があります。

ワイヤレス LAN 接続のための動作環境

■アドホック接続の場合

次のワイヤレス LAN カードを搭載したパソコンとのアドホック接続が可能です。
その他のワイヤレス LAN カードとの接続については、それぞれのワイヤレス LAN カードのマニュアルをご覧ください。

・FMV-W181　　・FMV-JW181
・FMV-W182　　・FMV-JW182

また、ワイヤレス LAN を搭載した次の機種とのアドホック接続が可能です。

・FMV-7000NA2　　・FMV-610MG2　　・FMV-6800MG/WL
・FMV-7160MR2　　・FMV-665MC2　　・FMV-270LS/WL
・FMV-6100MG2　　・FMV-273LS/WL

重 要

▶ FMV-W181 および FMV-JW181 ワイヤレス LAN カードを搭載したパソコンとアドホック接続を行う場合、通信速度が低下する場合があります。
そのような場合には、FMV-W181 または FMV-JW181 アダプタのファームウェアを更新してください。
最新のファームウェアは、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET からダウンロードしてください。

■インフラストラクチャ接続の場合

次のステーションを使用した、インフラストラクチャ接続が可能です。
ステーションのご利用については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

・FMWT-201
・FMWT-501
・FMNS-101+FMNS-WL1（Windows 2000 モデルのみ）
・FMWBR-101

重 要

▶ FMWT-201、FMWT-501 または FMNS-101+FMNS-WL1 を使用する場合の注意
インフラストラクチャ接続を行う場合は、「ワイヤレス LAN カードの設定」をしないでください。これは、ワイヤレス LAN カード（FMV-W181 または FMV-JW181）を使用する場合の設定です。本パソコンをお使いになる場合は、「Windows XP での接続」（••▶ P.17）、または「Windows 2000 での接続」（••▶ P.37）をご覧ください。
なお、以下はステーションのマニュアルの該当個所です。
・FMWT-201 をお使いの場合
『ワイヤレス LAN ステーション FMWT-201　取扱説明書』
・該当箇所
「2.1　Client Manager をインストールする」
「2.3　ワイヤレス LAN カードのパラメータを設定する」
・FMWT-501 をお使いの場合
『ワイヤレス LAN ステーション FMWT-501　取扱説明書』
・該当箇所
「2.1　Client Manager をインストールする」
「2.3　ワイヤレス LAN カードのパラメータを設定する」

・FMNS-101+FMNS-WL1 をお使いの場合
『TA 機能付きネットステーション (FMNS-101) 取り扱い説明書』
・該当箇所
「4.2.1 ワイヤレス LAN カードのパラメータ設定」

▶本パソコンと FMWT-201 の組み合わせでインターネットに接続する場合の注意
・電話回線を使用してインターネットに接続することはできません。
・ADSL（PPPoE）回線を使用してインターネットに接続する場合は、ステーション設定ツールの ISP の設定画面の「Connection」を「Automatic」に設定してください。ステーション設定ツールについては、FMWT-201 のマニュアルをご覧ください。

複数の LAN デバイスのご利用について

Windows 2000 の場合、複数の LAN デバイスを一緒に利用できません。ワイヤレス LAN を使用中は、有線 LAN などの他の LAN デバイスを使用しないでください。

ワイヤレス LAN 用アンテナ（別売）について〔NA〕〔MR〕

〔NA〕〔MR〕では、別売のワイヤレス LAN 用アンテナ（FMV-WANT1）を接続できます。通信中に、ネットワークに接続できないなどの現象が発生した場合は、電波の状態が悪い可能性があります。そのような場合にワイヤレス LAN 用アンテナを接続すると、電波の状態を改善できることがあります。

■使用上のご注意

アンテナ本体を落としたり、重い物を上に置いたりしないでください。また、ケーブルをひっぱらないでください。故障や破損の原因となり、けがをする危険性があります。

■ワイヤレス LAN 用アンテナの接続方法

1 パソコン本体のワイヤレス LAN 用アンテナ接続コネクタに付いている、保護用ゴムキャップを取り外します。

ワイヤレス LAN 用アンテナについては、パソコン本体のマニュアルの「各部名称」をご覧ください。

重 要

▶保護用ゴムキャップは、大切に保管してください。アンテナを取り外した場合は、ワイヤレス LAN 用アンテナ接続コネクタに保護用ゴムキャップを取り付けて、異物などの侵入を防いでください。

2 ワイヤレス LAN 用アンテナ接続コネクタに、ワイヤレス LAN 用アンテナのケーブルのコネクタを、しっかり差し込みます。

3 パソコン本体やステーションからの見通しが良く、安定した場所に、ワイヤレス LAN 用アンテナ本体を置きます。

▶ワイヤレス LAN 用アンテナを接続しても電波の状態が改善されない場合は、パソコン本体やステーション（インフラストラクチャ接続の場合）の設置場所を変更してください。

良好な通信を行うために

使用環境により正常に使用できない場合があります。パソコン本体は下記の点に注意して設置してください。

・パソコン本体と通信相手の機器との推奨通信距離は、屋内 25m 以内です。周囲の環境（壁や家具などの影響）、建物の構造によっては、通信可能距離が短くなる場合があります。特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、通信できないことがあります。

・ パソコン本体は、他の電気機器から離して設置してください。パソコン本体と電源が入った電気機器を近づけていると、正常に通信できなったり、電気機器の障害になることがあります。

　正常に通信できない場合は、使用するチャンネルや使用場所を変更してください。

　特に、電子レンジなどの強い高周波エネルギーを出す機器の使用時は、影響を受けやすく、正常に通信できないことがあります。

・放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、パソコン本体の設置場所を変えてみてください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。

・Bluetooth™ との電波干渉について

　Bluetooth™ とワイヤレス LAN は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、パソコン本体の近辺で使用すると、電波干渉が発生し通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合は、次の対策を行ってください。

　- ワイヤレス LAN とパソコン本体との間を 10m 以上離して使用すること

　- 10m 以内で使用する場合は、Bluetooth™ またはパソコン本体の一方の電源を切ること

正常に通信が行えない場合について

複数のパソコンでワイヤレス LAN に接続している場合、データ量が大きなファイルのコピーなどを同時に行うと、電波の状態が悪くなり、正常に通信できないことがあります。

この場合、通信が終了するのを待ってから、パソコンを再起動してください。

このような現象が頻繁に起こる場合は、ネットワーク名（SSID）や、チャンネルを変更してください。

電波の発信を停止する

病院や飛行機内、その他電子機器使用の規制がある場所では、あらかじめワイヤレス LAN の電波を停止してください。

■ワイヤレススイッチで停止する

〔NA〕〔MR〕〔MG〕〔LS〕に搭載されているワイヤレススイッチを OFF にすると、ワイヤレス LAN の電波を停止します。
ワイヤレススイッチについては、パソコン本体のマニュアルの「各部名称」をご覧ください。

■Windows で停止する

1 次のように操作します。

- Windows XP の場合
  「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。
- Windows 2000 の場合
  「スタート」ボタン→「プログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 「リンク」タブをクリックします。

3 「RF オフ」をクリックします。

- Windows XP の場合

・ Windows 2000 の場合

ボタンが「RF オン」になり、ワイヤレス LAN の電波を停止します。

POINT

▶ 電波の停止中に「RF オン」をクリックすると、電波の発信を再開します。

電波の発信を開始する

ワイヤレス LAN 機能を使って通信を行う場合は、ワイヤレス LAN の電波が発信できる状態にしてください。
〔NA〕〔MR〕〔MG〕〔LS〕の場合は手順 1 から、〔MC〕の場合は手順 2 から行ってください。

1 ワイヤレススイッチを ON にします。

ワイヤレススイッチについては、パソコン本体のマニュアルの「各部名称」をご覧ください。

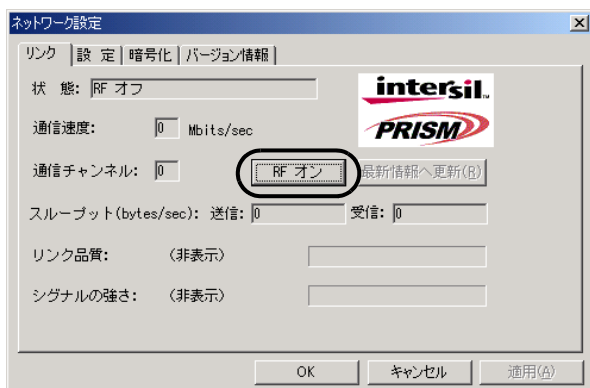
2 「ネットワーク設定」画面を表示します。

・ Windows XP の場合
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。

・ Windows 2000 の場合
「スタート」ボタン→「プログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。

3 「リンク」タブをクリックします。

4 「RF オン」をクリックします。

・ Windows XP の場合

・ Windows 2000 の場合

ボタンが「RF オフ」になります。
インフラストラクチャ接続の場合は、ワイヤレス LAN の電波の発信を開始します。
アドホック接続の場合は、手順 5 へ進んでください。

5 パソコン本体を再起動します。

第 2 章

Windows XP での接続

Windows XP モデルで、ワイヤレス LAN に接続するための設定を行います。
Windows 2000 モデルの場合は、「Windows 2000 での接続」（••▶ P.37）をご覧ください。

1 作業の流れ

ワイヤレス LAN に接続する手順は、次のとおりです。

1 ワイヤレス LAN の電波が発信できる状態になっていることを確認します。

「電波の発信を開始する」（••▶ P.14）

2 ワイヤレス LAN 接続に必要なパラメータを設定します。

「ワイヤレス LAN 接続のための準備」（••▶ P.19）

1. ネットワーク名（SSID）などを設定します。
2. ネットワークキー（通信データを暗号化するために使用するキー）を設定します。

3 ネットワーク接続の設定をします。

「ネットワークへの接続」（••▶ P.25）

1. TCP/IP プロトコルの設定や、ワークグループなどの確認を行います。
2. ファイルやプリンタをネットワーク上で共有する場合の設定をします。
   必要に応じて行ってください。
3. インフラストラクチャ接続の場合は、ステーション側の設定をします。
   ステーションのマニュアルをご覧ください。
4. ネットワークに接続できたか確認します。

2 ワイヤレス LAN 接続のための準備

ワイヤレス LAN を利用するために必要な準備（パラメータの設定）について説明します。

パラメータを設定する

ワイヤレス LAN 接続を行うために必要な、ネットワーク名（SSID）、ネットワークキーなどを設定します。ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

POINT

- チャンネル（周波数帯）を設定する必要はありません。接続しようとするワイヤレス LAN ネットワークで使用しているチャンネルを自動的に検知し、そのチャンネルで通信します。パソコン本体同士で、新規にアドホックワイヤレス LAN ネットワークを構築する場合は、チャンネル 11 固定となります。
- チャンネルの変更が必要な場合は、ステーション側で設定してください。設定方法については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

1 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

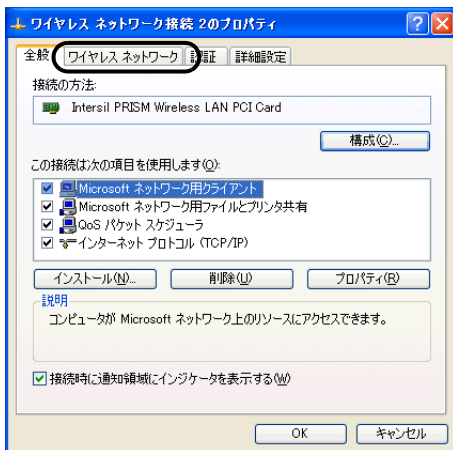
2 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

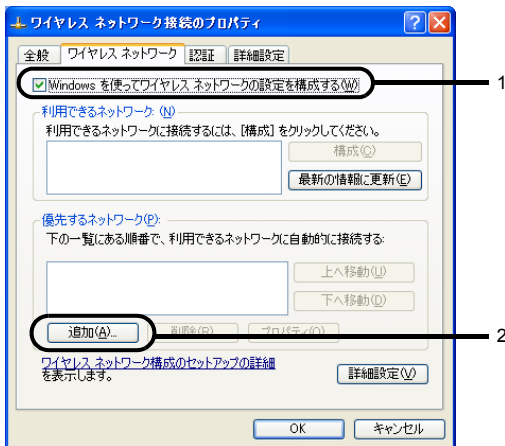
3 「ネットワーク接続」をクリックします。

現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。

4 一覧から「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」が表示されます。

5 「ワイヤレス ネットワーク」タブをクリックします。

「ワイヤレス ネットワーク」タブの画面が表示されます。

6 「Windows を使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する」にチェックが付いていることを確認し（1）、「追加」をクリックします（2）。

「ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面が表示されます。

7 ワイヤレス LAN ネットワークへ接続するための情報を設定をします。

項目	説明	
ネットワーク名(SSID)	接続したいネットワーク名を、半角英数字 32 文字以内で入力します。必ず入力してください。	
	アドホック接続の場合	接続するすべてのパソコンで、同じネットワーク名を設定します。
	インフラストラクチャ接続の場合	接続するステーションに合わせて設定します。ステーションの設定については、ステーションのマニュアルをご覧ください。
これはコンピュータ相互(ad hoc)のネットワークで、ワイヤレス アクセス ポイントを使用しない	アドホック接続の場合	チェックを付けます。
	インフラストラクチャ接続の場合	チェックを外します。

8 通信データを暗号化するための設定をします。

重要

- 通信データを暗号化するためのネットワークキーは、必ず設定してください。ネットワークキーを設定していない場合、ワイヤレス LAN 機能を搭載したすべてのパソコンから接続できるため、他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする危険性があります。

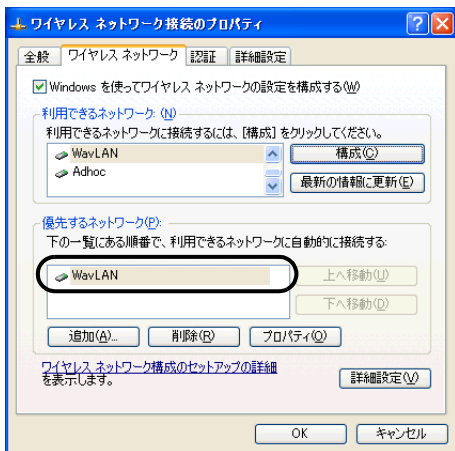
1. 次のように操作します。

2. 次のように操作します。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="3">キーの形式</td><td colspan="2">をクリックして、「ネットワークキー」の入力方法を選択します。</td></tr>
<tr><td>ASCII 文字</td><td>通常は、「ASCII 文字」を選択してください。
「ネットワークキー」に使用できる文字は、次のとおりです。
0 ～ 9、A ～ Z、a ～ z、_（アンダーバー）
入力例）ネットワークキーを「ABC12」に設定する場合、「ABC12」と入力します。
次のパソコン、およびステーションと接続する場合は、「ASCII 文字」を選択し、「キーの長さ」で「40 ビット（5 文字)」を選択します。
ワイヤレス LAN カード（FMV-W181、FMV-JW181）を搭載したパソコン
FMWT-201、FMWT-501</td></tr>
<tr><td>16 進数</td><td>ネットワーク内に、ネットワークキーをキャラクターコードで設定しているワイヤレスLANがある場合に選択します。
「ネットワークキー」に、設定済みの他のワイヤレス LAN と同じ値（16 進数のキャラクターコード）を入力してください。
「ネットワークキー」に使用できる文字は、次のとおりです。
0 ～ 9、a ～ f
入力例）ネットワークキーを 10 桁で設定する場合、「3132333f38」のように入力します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">キーの長さ</td><td colspan="2">をクリックして、通信データの暗号化の方法を選択します。
「キーの形式」の選択内容によって、表示される内容が異なります。</td></tr>
<tr><td>「ASCII文字」の場合</td><td>「40 ビット（5 文字)」、または「104 ビット（13 文字)」を選択します。</td></tr>
<tr><td>「16 進数」の場合</td><td>「40 ビット（10 桁)」、または「104 ビット（26 桁)」を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ネットワークキー</td><td colspan="2">入力文字数は、「キーの長さ」に指定されている文字数、または桁数で入力してください。指定された文字数以上を入力すると、自動的にキーの形式が変更されたり、エラーになる場合があります。</td></tr>
<tr><td>アドホック接続の場合</td><td>接続するすべてのパソコンで、同じ値を設定してください。</td></tr>
<tr><td>インフラストラクチャ接続の場合</td><td>接続するステーションに合わせて設定します。ステーションの設定については、ステーションのマニュアルをご覧ください。</td></tr>
<tr><td>キーのインデックス</td><td colspan="2">をクリックすると、必要に応じてネットワークキーを 0 ～ 3 の 4 つまで設定できます。通常は「0」のみ設定してください。
接続するパソコンやステーションによっては、ネットワークキーの番号が本パソコンと異なり、1 ～ 4 になっているものがあります。その場合、本パソコンは「0」、接続するパソコンやステーションは「1」に設定してください。</td></tr>
</table>

9 入力が終了したら、「OK」をクリックします。

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面に戻ります。

10 「優先するネットワーク」に、手順 7 で入力したネットワーク名が追加されたことを確認し、「OK」をクリックします。

POINT

- 「優先するネットワーク」に複数の設定が存在する場合、通信状態などにより希望するネットワークとは別の設定が優先される場合があります。混乱を避けるために、接続したい設定のみを登録することをお勧めします。

11 「ネットワーク接続」画面を閉じます。

12 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。

13 「再起動」をクリックします。

パソコン本体が再起動します。

以上で、パラメータの設定は終了です。
引き続き、ネットワークに接続するための設定を行います。「ネットワークへの接続」（··▶ P.25）へ進んでください。

POINT

- インフラストラクチャ接続で、ADSL（PPPoE）を使用してインターネットに接続する場合は、本パソコンの MTU サイズ（··▶ P.60）を変更する必要があります。
  詳しくは、ステーションのマニュアルをご覧ください。

3 ネットワークへの接続

ネットワークに接続する方法について説明します。
ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワークの設定をする

ネットワークの接続に必要な、「TCP/IP の設定」と「フル コンピュータ名、ワークグループの確認」を行います。

■TCP/IP の設定

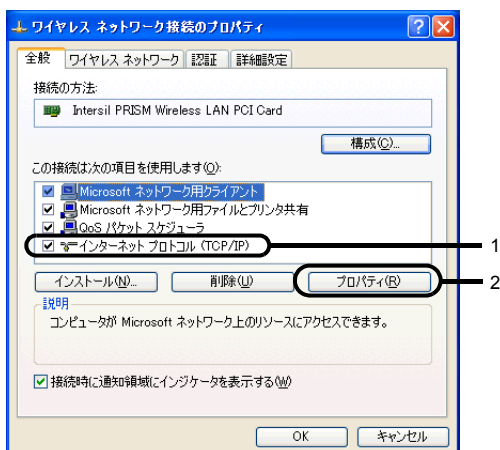
1 **「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

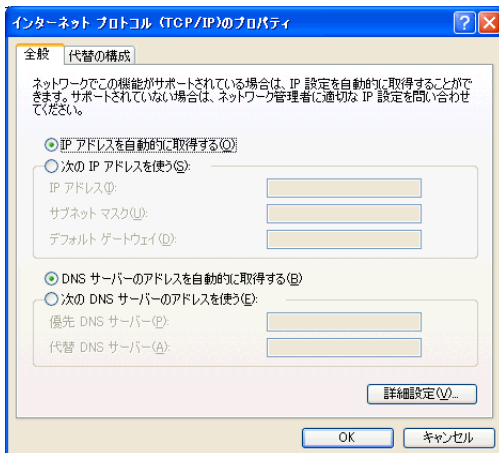
2 **「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。**

3 **「ネットワーク接続」をクリックします。**
現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。

4 **一覧から「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。**
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」が表示されます。

5 **「全般」タブをクリックします。**

6 **「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし（1）、「プロパティ」をクリックします（2）。**

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面が表示されます。

7 **IP アドレスを設定します。**

接続方法	IP アドレスの設定方法
アドホック接続の場合	「次の IP アドレスを使う」を選択し、「IP アドレス」、「サブネットマスク」を入力します。 「IP アドレスについて」（••▶ P.62）
インフラストラクチャ接続の場合	「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。 IP アドレス、DNS サーバーの設定、およびデフォルトゲートウェイについて、ネットワーク管理者から指示があった場合は、その指示に従ってください。

8 **「OK」をクリックします。**

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面に戻ります。

9 **「OK」または「閉じる」をクリックします。**

10 **「ネットワーク接続」画面で「閉じる」ボタンをクリックします。**

続いてフル コンピュータ名、ワークグループ名の確認を行います。

■フル コンピュータ名、ワークグループ名の確認

POINT

- フルコンピュータ名、ワークグループ名を変更する場合は、Windowsに管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしている必要があります。

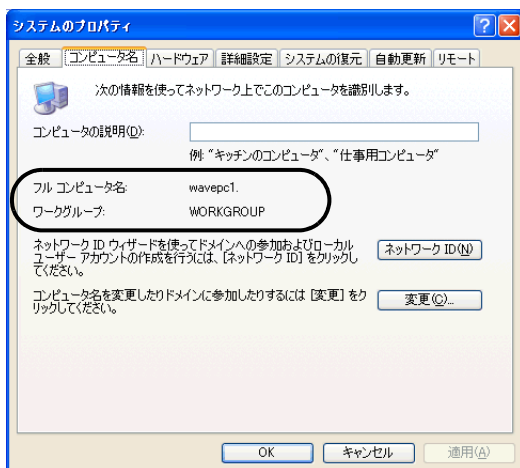
1 **「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

2 **「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックします。**

3 「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

4 「コンピュータ名」タブをクリックします。

5 「フル　コンピュータ名」、「ワークグループ」を確認します。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>フル コンピュータ名</td><td colspan="2">ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名前です。それぞれのパソコンに、任意の名前を設定できます。半角 15 文字以内で入力してください。
機種名やユーザー名などを設定すると、識別しやすくなります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ワークグループ</td><td colspan="2">ネットワークのグループ名です。半角 15 文字以内で入力してください。</td></tr>
<tr><td>アドホック接続の場合</td><td>同じネットワーク内のパソコンは、すべて同じ名前に設定します。</td></tr>
<tr><td>インフラストラクチャ接続の場合</td><td>接続したいワークグループ名を設定します。</td></tr>
</table>

変更する場合は「変更」をクリックして設定し、画面の指示に従って操作してください。

「システムのプロパティ」画面に戻ります。

6 「OK」をクリックします。

再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、パソコン本体を再起動してください。

共有設定をする

ファイルや接続プリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有する場合の設定を行います。共有しない場合は、設定の必要はありません。
共有設定したフォルダ、およびプリンタは、ネットワーク上のどのパソコンからも利用できるようになります。

■ Microsoft ネットワーク共有サービスの設定

1 **「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

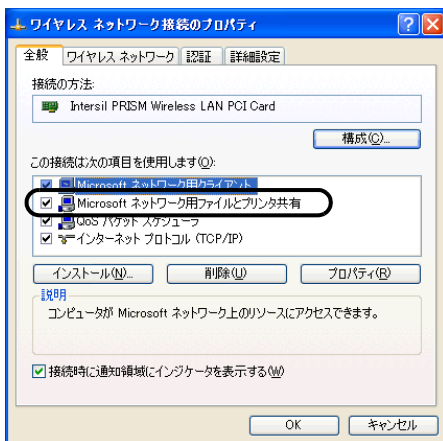
2 **「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。**

3 **「ネットワーク接続」をクリックします。**

現在インストールされているネットワークの一覧が表示されます。

4 **一覧から「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。**

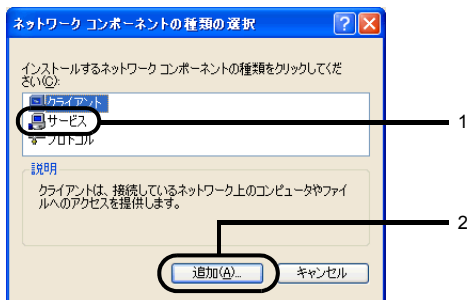
「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」が表示されます。

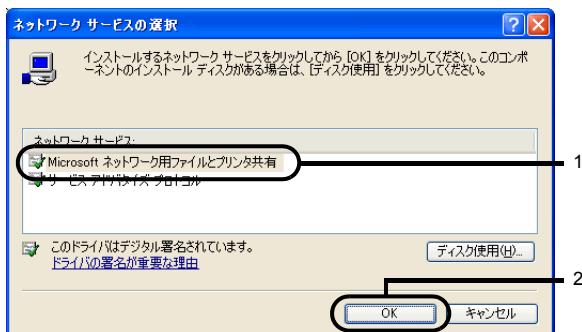
5 **「Microsoft　ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されている場合は、手順 6 へ進みます。**
「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されていない場合は、手順 7 へ進みます。

6 **「Microsoft　ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリックします。**

「ファイルの共有設定」（••▶ P.29）へ進んでください。

7 **「インストール」をクリックします。**

「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されます。

8 **「サービス」をクリックし（1）、「追加」をクリックします（2）。**

「ネットワークサービスの選択」画面が表示されます。

9 **「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」をクリックし（1）、「OK」をクリックします（2）。**

「ワイヤレス ネットワーク接続のプロパティ」画面に戻り、「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が一覧に追加されます。

10 **「閉じる」をクリックします。**

■ファイルの共有設定

ここでは、C ドライブの「work」フォルダを共有設定する場合を例に説明します。

1 **「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックします。**

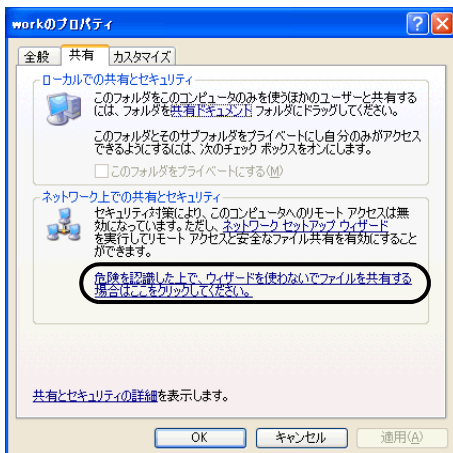
2 **「ローカルディスク（C:)」をダブルクリックします。**

3 **「work」フォルダを右クリックし、表示されるメニューから「共有とセキュリティ」をクリックします。**

「work のプロパティ」画面が表示されます。ファイルの共有設定を行います。

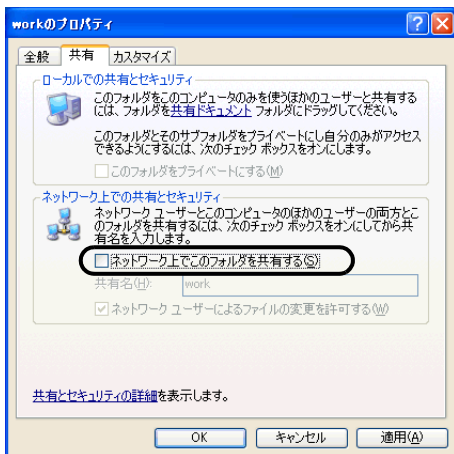
POINT

- 画面上では、ネットワーク セットアップ ウィザードを実行したファイル共有の設定を推奨していますが、ワイヤレス LAN ネットワークの場合、ネットワーク名（SSID）やネットワークキーによってセキュリティが守られています。ここではネットワークセットアップ ウィザードを使わずに、簡単にファイルの共有設定を行う方法を説明します。

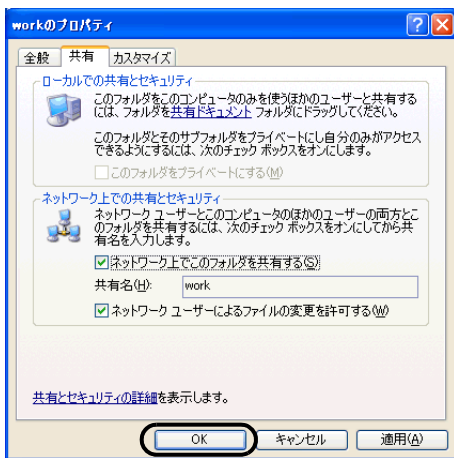
4 「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックします。

POINT

- すでに「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」をクリックしている場合は、この画面は表示されません。手順 5 へ進んでください。

「work のプロパティ」画面内の「ネットワーク上での共有とセキュリティ」の表示内容が変わります。

5 「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」にチェックを付けます。

POINT

- 共有するフォルダを読み取り専用にする場合は、「ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する」のチェックを外してください。

6 「OK」をクリックします。

フォルダが共有設定され、「work」フォルダのアイコンが共有の表示に変わります。

■プリンタの共有設定

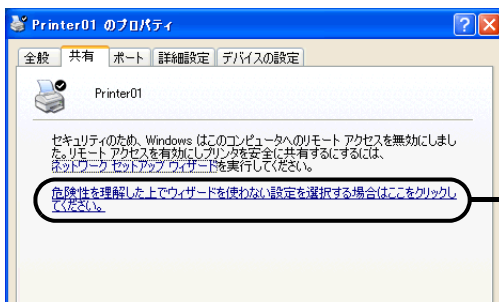
1 **「スタート」ボタン→「プリンタと FAX」の順にクリックします。**

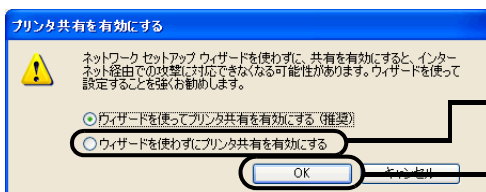
「プリンタと FAX」画面が表示され、接続されているプリンタが表示されます。

2 **共有設定するプリンタを右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。**

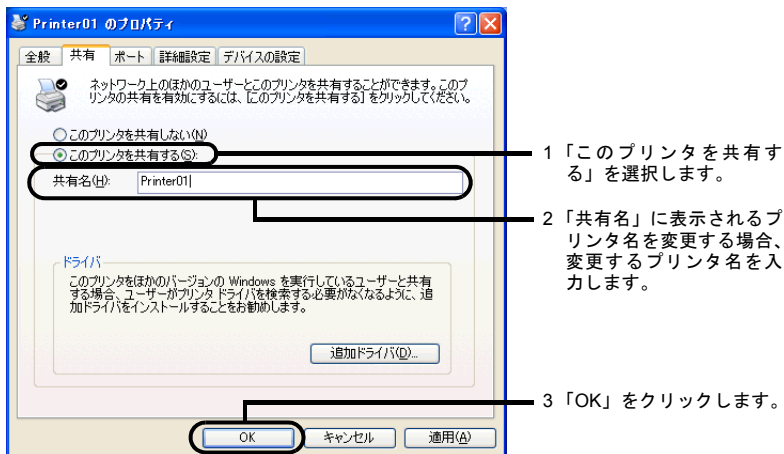
共有設定するプリンタのプロパティ画面が表示されます。プリンタの共有設定を行います。

POINT

- 画面上では、ネットワーク セットアップ ウィザードを実行したプリンタ共有の設定を推奨していますが、ワイヤレス LAN ネットワークの場合、ネットワーク名（SSID）やネットワークキーによってセキュリティされています。ここではネットワーク セットアップ ウィザードを使わずに、簡単にプリンタの共有設定を行う方法を説明します。

3 **次のように操作します。**

「プリンタ共有を有効にする」画面が表示されます。

4 **次のように操作します。**

プリンタのプロパティ画面に戻ります。

5 次のように操作します。

プリンタが共有設定され、プリンタのアイコンが共有の表示に変わります。

接続を確認する

ネットワークの設定ができたら、他のパソコンで設定されている共有フォルダに接続してみましょう。また、ネットワークに接続できない場合などは、電波の状態を確認してみましょう。

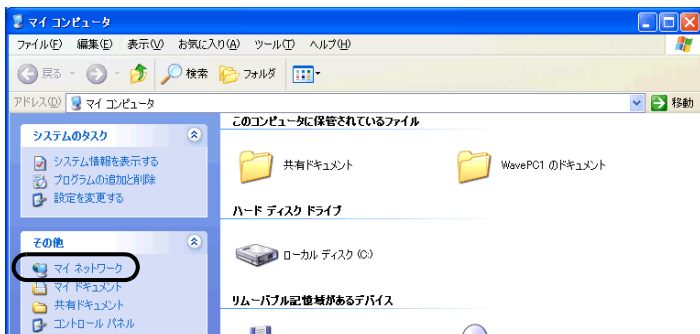
POINT

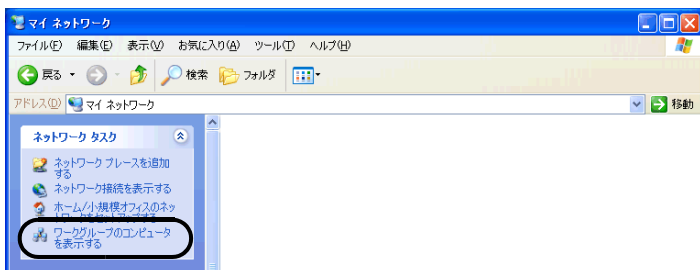
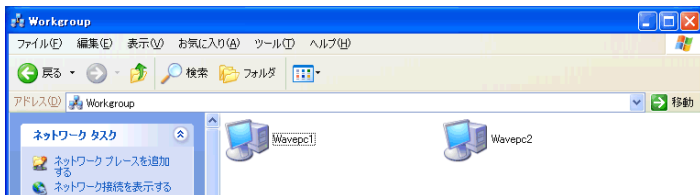
- インフラストラクチャ接続の場合、ステーション側の設定をしてから、接続を確認してください。ステーション側の設定については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

■他のパソコンに接続する

1 「スタート」→「マイコンピュータ」の順にクリックします。

マイコンピュータ画面が表示されます。

2 その他の一覧から「マイ ネットワーク」をクリックします。

「マイネットワーク」画面が表示されます。

3 ネットワークタスクの一覧から、「ワークグループのコンピュータを表示する」をクリックします。

自分が参加しているワークグループのコンピュータの一覧が表示されます。

4 接続したいパソコンをダブルクリックします。

「パソコンの共有設定」で設定されたフォルダが表示されます。

5 接続したいフォルダをダブルクリックします。

フォルダの内容が表示され利用可能になります。

■電波の状態を確認する

1 **「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。**

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 **「リンク」タブの画面で電波の状態を確認します。**

現在の接続状況が表示されます。

項目	説明
状態	現在の接続状態が表示されます。 インフラストラクチャ接続時は、現在接続しているステーションの MAC アドレスが表示されます。アドホック接続時も値が表示されますが、接続しているアドホック接続クライアントの MAC アドレスではありません。
通信速度	現在の通信速度が、Mbits/sec 単位で表示されます。
通信チャンネル	現在通信に使用しているチャンネルが表示されます。
「RF オフ」／ 「RF オン」ボタン	「RF オフ」をクリックすると、電波を停止します。 電波の停止中、「RF オン」をクリックすると、電波の発信を再開します。
「最新情報へ更新」 ボタン	クリックすると、接続相手を探します。
スループット (bytes/sec)	実際の通信データの転送速度を、送信、受信それぞれについて表示します。
リンク品質	インフラストラクチャ接続時は、リンク品質により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。
シグナルの強さ	インフラストラクチャ接続時は、電波の強度により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。

ネットワークに接続できない場合や、接続を確認したい場合などは、「困ったときは・・・」（••▶ P.54）をご覧ください。

第 3 章

Windows 2000 での接続

Windows 2000 モデルで、ワイヤレス LAN に接続するための設定を行います。
Windows XP モデルの場合は、「Windows XP での接続」(··▶ P.17)をご覧ください。

1 作業の流れ

ワイヤレス LAN に接続する手順は、次のとおりです。

1 ワイヤレス LAN の電波が発信できる状態になっていることを確認します。

「電波の発信を開始する」（••▶ P.14）

2 ワイヤレス LAN 接続に必要なパラメータを設定します。

「ワイヤレス LAN 接続のための準備」（••▶ P.39）

1. ネットワーク名（SSID）などを設定します。
2. ネットワークキー（通信データを暗号化するために使用するキー）を設定します。

3 ネットワーク接続の設定をします。

「ネットワークへの接続」（••▶ P.43）

1. TCP/IP プロトコルの設定や、ワークグループなどの確認を行います。
2. ファイルやプリンタをネットワーク上で共有する場合の設定をします。
   必要に応じて行ってください。
3. インフラストラクチャ接続の場合は、ステーション側の設定をします。
   ステーションのマニュアルをご覧ください。
4. ネットワークに接続できたか確認します。

2 ワイヤレス LAN 接続のための準備

ワイヤレス LAN を利用するために必要な準備（パラメータの設定）について説明します。

重 要

- Windows 2000 では、一度に使用できる LAN デバイスは 1 台のみです。ワイヤレス LAN を使用中は、有線 LAN などの他の LAN デバイスを使用しないでください。

パラメータを設定する

ワイヤレス LAN 接続を行うために必要な、ネットワーク名（SSID）、使用チャンネル、ネットワークキーなどを設定します。ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

POINT

- アドホック接続しているパソコンのチャンネルを変更する場合は、同じネットワーク名（SSID）で接続しているすべてのパソコンのチャンネルを同時に変更してください。変更後は、すべてのパソコンの電源を切り、電源の入っているパソコンがないことを確認してから、電源を入れてください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 ワイヤレス LAN ネットワーク環境を設定します。

項目	説明	
プロファイル	設定するパラメータ情報を保存するシステムファイルの名前を入力します。半角英数字 60 文字以内で、任意の文字列を入力してください。 プロファイルは、アドホック接続・インフラストラクチャ接続合わせて、5 個まで設定できます。接続するワイヤレス LAN ネットワークが複数ある場合に、プロファイルによって使い分けることができます。	
ネットワーク名（SSID）	接続したいネットワーク名を、半角英数字 32 文字以内で入力します。必ず入力してください。「ANY」は選択しないでください。	
	アドホック接続の場合	接続するすべてのパソコンで、同じ名前を設定します。
	インフラストラクチャ接続の場合	接続するステーションに合わせて設定します。ステーションの設定については、ステーションのマニュアルをご覧ください。
モード	ワイヤレス LAN ネットワークへの接続方法を指定します。	
	アドホック接続の場合	▼をクリックして「ad hoc」を選択します。
	インフラストラクチャ接続の場合	▼をクリックして「インフラストラクチャ」を選択します。
チャンネル	通信に使用するチャンネル（周波数帯）を選択します。	
	アドホック接続の場合	接続するすべてのパソコンで同じ値を選択してください。 ネットワーク内にワイヤレス LAN カード（FMV-W181、FMV-JW181）を搭載しているパソコンがある場合は、「10」を選択してください。 同一フロア内など、近くに他のワイヤレス LAN ネットワークがある場合は、チャンネルの値を 5 つ離すことをお勧めします。 例えば、同一フロア内にワイヤレス LAN ネットワークが 3 つある場合は、1、6、11 のように設定してください。
	インフラストラクチャ接続の場合	設定する必要はありません。
省電力	お使いになれません。	
通信速度	通常は、「Fully Automatic」を選択してください。	

POINT

- 「初期値」ボタンをクリックすると、「設定」タブと「暗号化」タブの内容がすべて、本パソコン出荷時の内容に戻ります。

3 **入力が終了したら、「適用」をクリックします。**

4 「暗号化」タブをクリックします。

重 要

- 通信データを暗号化するためのネットワークキーは、必ず設定してください。ネットワークキーを設定していない場合、ワイヤレス LAN 機能を搭載したすべてのパソコンから接続できるため、他のユーザーにデータを盗まれたり、破壊されたりする危険性があります。

5 通信データを暗号化するための設定をします。

項目	説明	
データの暗号化（WEP 有効）	をクリックして、通信データの暗号化の方法を選択します。	
	Disable	暗号化を設定しません。
	40 ビット	ネットワークキーを 40 ビットで指定します。「16 進数」または、「ASCII 文字」のいずれかの方法で、ネットワークキーを入力します。 次のパソコン、およびステーションと接続する場合は、「40 ビット」を選択します。 ワイヤレス LAN カード（FMV-JW181、FMV-W181）を搭載したパソコン FMWT-201、FMWT-501、FMNS-101+FMNS-WL1
	104 ビット	ネットワークキーを 104 ビットで指定します。「16 進数」「ASCII 文字」のいずれかの方法で、ネットワークキーを入力します。
マニュアルで入力	ネットワークキーを「ASCII 文字」、または「16 進数」で設定します。	
16 進数	ネットワーク内に、ネットワークキーをキャラクターコードで設定するワイヤレス LAN がある場合に選択します。 ネットワークキー 1 ～ 4 に、設定済みの他のワイヤレス LAN と同じ値（16 進数のキャラクタコード）を入力してください。 「ネットワークキー」に使用できる文字は、次のとおりです。 0 ～ 9、a ～ f 入力例）ネットワークキーを 10 桁で設定する場合、「3132333f38」のように入力します。	

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>ASCII 文字</td><td colspan="2">通常は、「ASCII 文字」を選択してください。
「データの暗号化（WEP 有効）」で「40 ビット」を選択した場合は、5 文字で入力します。「104 ビット」を選択した場合は、13 文字で入力します。
ネットワークキー 1 ～ 4 に使用できる文字は、次のとおりです。
0 ～ 9、A ～ Z、a ～ z、_（アンダーバー）
ネットワークキーを 40 ビットで入力する場合の入力例）「ABC12」に設定する場合、「ABC12」と入力します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ネットワークキー1 ～ 4</td><td colspan="2">ネットワークキーを入力します。
必要に応じて、4 つまで設定することができます。通常は、「キー 1」のみ設定してください。</td></tr>
<tr><td>アドホック接続の場合</td><td>接続するすべてのパソコンで、同じ値を設定してください。設定方法については、「16 進数」、または「ASCII 文字」の項目をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>インフラストラクチャ接続の場合</td><td>接続するステーションに合わせて設定します。ステーションの設定については、ステーションのマニュアルをご覧ください。</td></tr>
<tr><td>デフォルトキー</td><td colspan="2">をクリックして、ネットワークキー 1 ～ 4 で入力したどのキーを使うか選択します。キー 1 を使用する場合は、「1」を選択します。
接続するパソコンやステーションによっては、ネットワークキーの番号が本パソコンと異なり、0 ～ 3 になっているものがあります。その場合、本パソコンは「1」、接続するパソコンやステーションは「0」に設定してください。</td></tr>
<tr><td>パスフレーズで入力</td><td colspan="2">お使いになれません。</td></tr>
</table>

6 入力が終了したら、「適用」をクリックします。

7 「OK」をクリックします。

「ネットワーク設定」画面が終了します。

8 パソコン本体を再起動します。

「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「再起動」をクリックして「OK」をクリックします。

以上で、パラメータの設定は終了です。
引き続き、ネットワークに接続するための設定を行います。「ネットワークへの接続」（･･▶ P.43）へ進んでください。

POINT

- インフラストラクチャ接続で、ADSL（PPPoE）を使用してインターネットに接続する場合は、本パソコンの MTU サイズ（･･▶ P.60）を変更する必要があります。
  詳しくは、ステーションのマニュアルをご覧ください。

3 ネットワークへの接続

ネットワークに接続する方法について説明します。
ネットワーク管理者がいる場合は、それぞれの設定内容について、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワークの設定をする

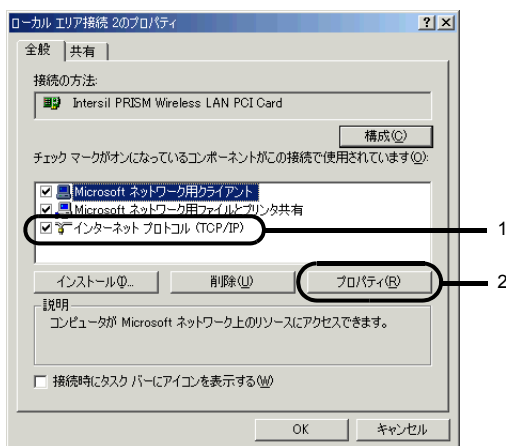
ネットワークの接続に必要な、「TCP/IP の設定」と「フル コンピュータ名、ワークグループ名の確認」を行います。

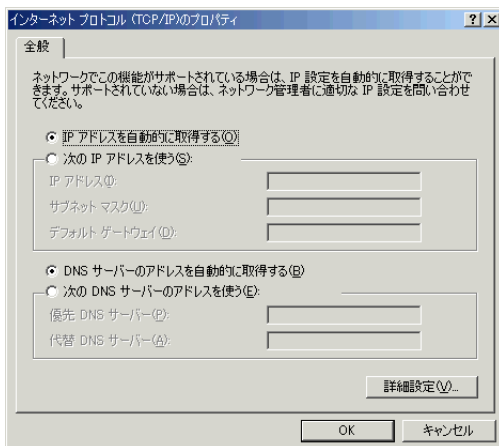
■TCP/IP の設定

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンをダブルクリックします。
「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

3 「ローカルエリア接続」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

4 「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし（1）、「プロパティ」をクリックします（2）。

「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」画面が表示されます。

5 IP アドレスを設定します。

接続方法	IP アドレスの設定方法
アドホック接続の場合	「次の IP アドレスを使う」を選択し、「IP アドレス」、「サブネットマスク」を入力します。 「IP アドレスについて」（••▶ P.62）
インフラストラクチャ接続の場合	「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択します。 IP アドレス、DNS サーバーの設定、およびデフォルトゲートウェイについて、ネットワーク管理者から指示があった場合は、その指示に従ってください。

6 「OK」をクリックします。

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻ります。

7 「OK」をクリックします。

再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、パソコン本体を再起動してください。

■フル コンピュータ名、ワークグループ名の確認

POINT

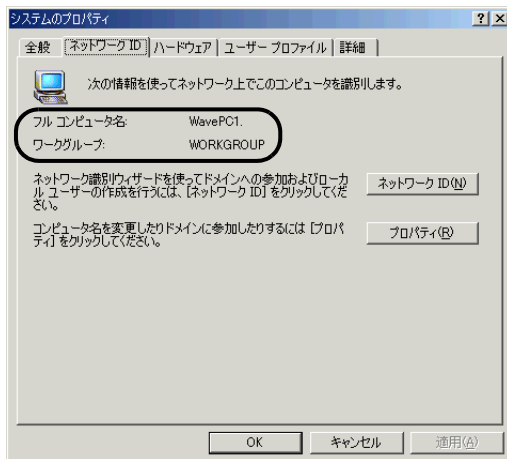
- フルコンピュータ名、ワークグループ名を変更する場合は、管理者権限をもったユーザーとしてログオンしている必要があります。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。

2 「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 「ネットワーク ID」タブをクリックします。

4 「フル コンピュータ名」、「ワークグループ」を確認します。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>フル コンピュータ名</td><td colspan="2">ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名前です。それぞれのパソコンに、任意の名前を設定できます。機種名やユーザー名などが設定されていると、識別しやすくなります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ワークグループ</td><td colspan="2">ネットワークのグループ名です。</td></tr>
<tr><td>アドホック接続の場合</td><td>同じネットワーク内のパソコンは、すべて同じ名前に設定します。</td></tr>
<tr><td>インフラストラクチャ接続の場合</td><td>接続したいワークグループ名を設定します。</td></tr>
</table>

変更する場合は「プロパティ」をクリックして設定し、画面の指示に従って操作してください。
「システムのプロパティ」画面に戻ります。

5 「OK」をクリックします。

再起動のメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、パソコン本体を再起動してください。

共有設定をする

ドライブやフォルダの共有、およびプリンタの共有に必要な設定を行います。
ファイルや接続プリンタを、ネットワーク上の他のパソコンと共有する場合のみ設定します。
共有設定したドライブやフォルダおよびプリンタは、ネットワーク上のどのパソコンからも利用できるようになります。

■Microsoft ネットワーク共有サービスの設定

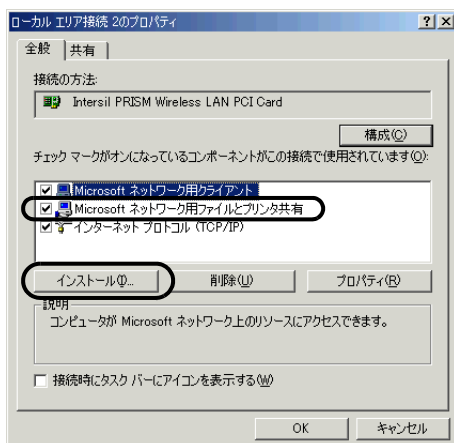
1 **「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

2 **「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンをダブルクリックします。**
「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

3 **「ローカルエリア接続」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。**
「ローカルエリア接続のプロパティ」画面が表示されます。

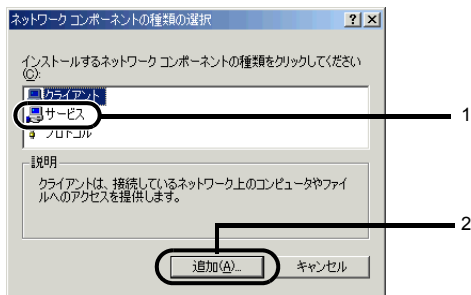
POINT

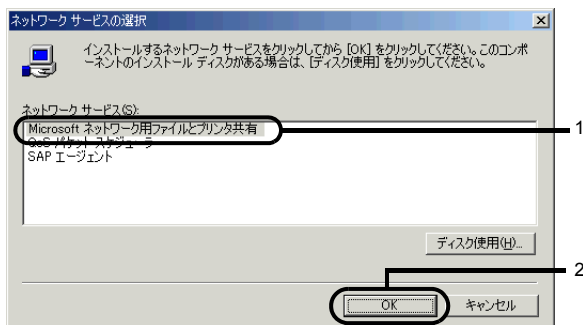
▶「ローカルエリア接続」が複数表示されている場合は、「デバイス名」が「Intersil PRISM Wireless LAN PCI Card」となっている「ローカルエリア接続」を選択してください。

4 **「Microsoft　ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されている場合は手順 5 へ進みます。**
「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が表示されていない場合は、手順 6 へ進みます。

5 **「Microsoft　ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」にチェックが付いていることを確認し、「OK」をクリックします。**
「ファイルの共有設定」（••▶ P.48）へ進んでください。

6 「インストール」をクリックします。

「ネットワークコンポーネントの種類の選択」画面が表示されます。

7 「サービス」をクリックし（1)、「追加」をクリックします（2)。

「ネットワークサービスの選択」画面が表示されます。

8 「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」をクリックし（1)、「OK」をクリックします（2)。

「ローカルエリア接続のプロパティ」画面に戻り、一覧に「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が追加されます。

9 「OK」または「閉じる」をクリックします。

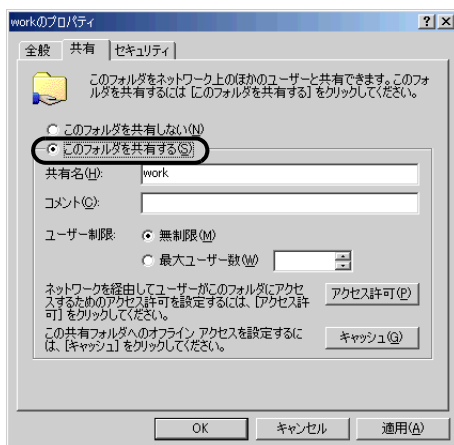
■ファイルの共有設定

ここでは、C ドライブの「work」フォルダを共有設定する場合を例に説明します。

1 **デスクトップ画面の「マイコンピュータ」→「ローカルディスク（C：）」の順にダブルクリックします。**

2 **「work」フォルダを右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。**

「work のプロパティ」画面が表示されます。

3 **「このフォルダを共有する」を選択し、必要な項目を設定します。**

項目	説明
共有名	共有するフォルダの共有名を設定できます。
コメント	共有するフォルダの説明を入力します。
ユーザー制限	共有するユーザー数の制限を設定します。
アクセス許可	フォルダに対するアクセス権を設定します。
キャッシュ	フォルダのキャッシュを設定します。

4 **「OK」をクリックします。**

フォルダが共有設定され、「work」フォルダのアイコンの表示が変わります。

■プリンタの共有設定

1 **「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。**

プリンタ画面が表示され、接続されているプリンタが表示されます。

2 **共有設定するプリンタにカーソルを合わせて右クリックし、表示されるメニューから「共有」をクリックします。**

共有するプリンタのプロパティ画面が表示されます。

3 **「共有する」を選択し、必要な項目を設定します。**

項目	説明
共有しない	プリンタの共有を解除します。
共有する	プリンタを共有設定します。 テキストボックスに共有するプリンタの共有名を入力できます。

4 **「OK」をクリックします。**

プリンタが共有設定され、アイコンの表示が変わります。

接続を確認する

ネットワークの設定ができたら、他のパソコンで設定されている共有フォルダに接続し、ワイヤレス LAN ネットワークへの接続状態を確認してみましょう。

POINT

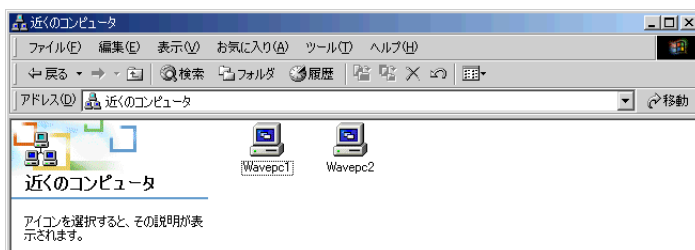
- インフラストラクチャ接続の場合、ステーション側の設定をしてから、接続を確認してください。ステーション側の設定については、ステーションのマニュアルをご覧ください。

■他のパソコンに接続する

1 **デスクトップ画面の「マイ ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。**

「マイネットワーク」画面が表示されます。

2 **「近くのコンピュータ」をダブルクリックします。**

ネットワークに接続されているパソコンが表示されます。

3 **接続したいパソコンをダブルクリックします。**

「パソコンの共有設定」で設定されたフォルダが表示されます。

4 **接続したいフォルダをダブルクリックします。**

フォルダの内容が表示され、利用可能になります。

■電波の状態を確認する

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「PRISM Wireless LAN Configuration」の順にクリックします。**

「ネットワーク設定」画面が表示されます。

2 **「リンク」タブの画面で、電波の状態を確認します。**

現在の接続状況が表示されます。

項目	説明
状態	現在の接続状態が表示されます。 インフラストラクチャ接続時は、現在接続しているステーションの MAC アドレスが表示されます。アドホック接続時も値が表示されますが、接続しているアドホック接続クライアントの MAC アドレスではありません。
通信速度	現在の通信速度が、Mbits/sec 単位で表示されます。
通信チャンネル	現在通信に使用しているチャンネルが表示されます。
「RF オフ」／「RF オン」ボタン	「RF オフ」をクリックすると、電波を停止します。 電波の停止中、「RF オン」をクリックすると、電波の発信を再開します。
「最新情報へ更新」ボタン	クリックすると、接続相手を探します。
スループット (bytes/sec)	実際の通信データの転送速度を、送信、受信それぞれについて表示します。
リンク品質	インフラストラクチャ接続時は、リンク品質により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。
シグナルの強さ	インフラストラクチャ接続時は、電波の強度により、「非常に強い、強い、中、弱い、未接続」のいずれかが表示されます。 アドホック接続時は表示されません。

ネットワークに接続できない場合や、接続を確認したい場合などは、「困ったときは・・・」（••▶ P.54）をご覧ください。

4

第 4 章

付　録

1 困ったときは・・・

ワイヤレス LAN の使用中にトラブルが発生した場合の原因と対処方法を記載しています。該当する項目をご覧ください。

デバイスマネージャの画面で、ワイヤレス LAN に「！」マークや「×」マークがついている

・デバイスマネージャの画面で、Intersil PRISM Wireless LAN PCI Card に「！」マークや「×」マークがついています。

■原因

ワイヤレス LAN の認識に失敗している。

□対策

パソコン本体を再起動してください。

ネットワークに接続できない

・「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックしても、他のコンピュータが表示されないか、表示されても接続ができません。
・インフラストラクチャ接続で、ステーションに接続できません。

■原因 1

ネットワーク名（SSID）、またはネットワークキーが正しくない。

□対策

アドホック接続の場合、接続するすべてのパソコンで、ネットワーク名（SSID）、およびネットワークキーを同じ値に設定してください。
インフラストラクチャ接続の場合、ネットワーク名（SSID）、およびネットワークキーを、ステーションと同じ値に設定してください。
設定方法は、次をご覧ください。
・Windows XP
「パラメータを設定する」（••▶ P.19）
・Windows 2000
「パラメータを設定する」（••▶ P.39）

■原因 2

電波の状態が悪いため、電波が届かない。

□ 対策

アドホック接続の場合、接続相手のパソコンとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしたりしてから、再度接続してください。
インフラストラクチャ接続の場合、ステーションとの距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしたりしてから、再度接続してください。
電波の状態を確認する場合は、次をご覧ください。

・ Windows XP
  「電波の状態を確認する」（••▶ P.35）
・ Windows 2000
  「電波の状態を確認する」（••▶ P.51）

〔NA〕〔MR〕では、電波の状態を改善するために、別売のワイヤレス LAN 用アンテナを使用することもできます。
「ワイヤレス LAN 用アンテナ（別売）について〔NA〕〔MR〕」（••▶ P.11）

■原因 3

電波を停止した状態になっている。

□ 対策

〔NA〕〔MR〕〔MG〕〔LS〕では、ワイヤレススイッチが ON になっていることを確認してください。
また、「ネットワーク設定」画面で「RF オフ」（電波を発信している状態）になっていることを確認してください。
「電波の発信を開始する」（••▶ P.14）

■原因 4

接続先のパソコンの電源が入っていない。

□ 対策

接続先のパソコンの電源が入っているか、確認してください。

■原因 5

同一フロア内などで複数のワイヤレス LAN ネットワークがあり、使用するチャンネルが重なっている。

□ 対策

近くに他のワイヤレス LAN ネットワークがある場合は、使用するチャンネルが重ならないようにチャンネルを変更してください。使用中のチャンネルの確認方法は、次をご覧ください。

・ Windows XP
  「電波の状態を確認する」（••▶ P.35）
・ Windows 2000
  「電波の状態を確認する」（••▶ P.51）

■原因 6

接続先のネットワークにアクセスする権限がない。

□ 対策

接続先のネットワークに、アクセスする権限があるか確認してください。

■原因 7

ネットワークを検索して、接続されているコンピュータが表示されるまでに時間がかかっている。

□ 対策

次の手順でコンピュータの検索をしてください。

・Windows XP の場合

1. 「スタート」ボタン→「検索」の順にクリックします。
2. 「コンピュータまたは人」をクリックします。
3. 「ネットワーク上のコンピュータ」をクリックします。
4. 「コンピュータ名」に接続先のコンピュータ名を入力して、「検索」をクリックします。
5. 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックします。

・Windows 2000 の場合

1. 「スタート」ボタン→「検索」→「ファイルやフォルダ」の順にクリックします。
2. 「ほかの項目を検索」の「コンピュータ」をクリックします。
3. 「コンピュータ名」に接続先のコンピュータ名を入力して、「検索開始」をクリックします。
4. 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックします。

■原因 8

ネットワークの設定が正常にできていない。

□ 対策

プロトコル、ワークグループ名や共有設定の確認を行ってください。
確認方法は、次をご覧ください。

・Windows XP

「ネットワークへの接続」（••▶ P.25）

・Windows 2000

「ネットワークへの接続」（••▶ P.43）

■原因 9

IP アドレスの設定が正しくない。

□ 対策

ネットワークの設定を確認してください。

・Windows XP

「ネットワークの設定をする」（••▶ P.25）

・Windows 2000

「ネットワークの設定をする」（••▶ P.43）

お使いのプロトコルが TCP/IP の場合は、次の手順で IP アドレスを確認できます。

1. 次のように操作します。
   - Windows XP の場合
     「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
   - Windows 2000 の場合
     「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
2. コマンドプロンプトまたは MS-DOS プロンプト画面で、次のように「IPCONFIG」コマンドを入力し、【Enter】キーを押します。
   例：C ドライブがハードディスクの場合
   C:¥>ipconfig【Enter】
   IP アドレスが正常に表示されているか確認してください。

```
IP Address. . . . . . . . .   : 10.0.1.3
Subnet Mask. . . . . . . . .   : 255.255.255.0
Default Gateway. . . . . . . . .   : 10.0.1.1
```

POINT

- IP アドレスが「169.254.XXX.YYY」または「0.0.0.0」と表示される場合、ステーションから IP アドレスが正常に取得できていません。パソコン本体を再起動してください。それでも表示される場合は、TCP/IP の設定を確認してください。
- IP アドレスが表示されず、「Cable Disconnected」または「Media Disconnected」と表示される場合、ネットワーク名（SSID）とネットワークキーの設定を確認してください。

PING コマンドを実行して、接続確認をしたい

■対策

次の手順で PING コマンドを実行して、IP パケットが通信先に正しく届いているかを確認します。

POINT

- PING コマンドを実行するには、TCP/IP プロトコルをインストールしておく必要があります。

1. 次のように操作します。
   - Windows XP の場合
     「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
   - Windows 2000 の場合
     「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

2. コマンドプロンプトで、次のように ping コマンドを入力します。

例：C ドライブがハードディスク、通信先の IP アドレスが 10.0.1.3 の場合

```
C:¥>ping 10.0.1.3【Enter】
```

正常に接続できている場合は、次のように表示されます。

```
Pinging 10.0.1.3 with 32 bytes of data:

Reply from 10.0.1.3: bytes=32 time=1ms TTL=32
Reply from 10.0.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 10.0.1.3: bytes=32 time=4ms TTL=32
Reply from 10.0.1.3: bytes=32 time<10ms TTL=32
```

接続できていない場合は、「Request timed out」「Destination host unreachable」などと表示されます。そのときは「ネットワークに接続できない」（••▶ P.54）をご覧ください。

2 用語集

■DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

IPアドレスなどの通信に関するパラメータを自動取得するために使用するプロトコルです。
IP アドレスを与える側を DHCP サーバー、IP アドレスを与えられる側を DHCP クライアントと呼びます。

■DNS（Domain Name System）

パソコンに割り当てた IP アドレスと名前の対応を管理する機能です。
IP アドレスがわからないパソコンでも名前がわかっていれば、そのパソコンと通信できます。

■IEEE802.11b

IEEE（米国電気電子学会）で LAN 技術の標準を策定している 802 委員会が定めたワイヤレス LAN の規格の 1 つです。
無線免許なしで自由に使える 2.4GHz 帯の電波（ISM バンド）を使い、最大 11Mbps の速度で通信を行うことができます。端末の数が多く、配線コストがかかるオフィスや図書館、大学のキャンパスなどでの本格的な普及が期待されています。

■IP アドレス

TCP/IP 環境で、パソコンが通信するために使用するアドレスです。
現在使用されている IPv4（バージョン 4）では、1 から 255 までの、4 個の数値で表します。（例：192.168.100.123）
また、IP アドレスには、グローバルアドレスとプライベートアドレスがあります。
グローバルアドレスは、世界でただひとつのアドレスです。国内では、JPNIC（日本ネットワークインフォーメーションセンター）により管理されています。プライベートアドレスは、閉じたネットワークの中でひとつのアドレスです。

■LAN（Local Area Network）

同一フロアやビルなどの比較的狭い範囲で、コンピュータ同士を接続した環境を言います。

■MAC アドレス（Media Access Control Address）

ネットワークカードに固有の物理アドレスです。
Ethernet ならバイト長で、先頭の 3 バイトはベンダコードとして IEEE が管理／割り当てを行っています。残り 3 バイトは各ベンダで独自に（重複しないように）管理しているコードなので、結果として、世界中で同じ物理アドレスを持つ Ethernet カードは存在せず、すべて異なるアドレスが割り当てられていることになります。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行っています。

■MTU（Maximum Transmission Unit）

インターネットなどのネットワーク上で、一度に転送可能な最大データサイズのことです。最大データサイズが大きすぎてデータが正しく通信できない環境などでは、MTU のサイズを小さく設定することにより正常に通信できるようになります。

■PPPoE（Point to Point Protocol over Ethernet）

電話回線接続で使用する認証プロトコル（PPP）を、Ethernet 上で使用するための方式です。

■TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。

■Wi-Fi

ワイヤレス LAN の互換性接続を保証する団体「WECA（Wireless Ethernet Compatibility Alliance）」の相互接続性テストを合格していることを示します。

■アドホック

ワイヤレス LAN ネットワーク構成の呼び名です。ワイヤレス LAN 機能を搭載したパソコンだけで通信を行う形態を言います。詳しくは、「アドホックワイヤレス LAN ネットワーク」（••▶ P.8）をご覧ください。

■インフラストラクチャ

ワイヤレス LAN ネットワーク構成の呼び名です。ステーションを使用して通信を行う形態を言います。詳しくは、「インフラストラクチャワイヤレス LAN ネットワーク」（••▶ P.9）をご覧ください。

■サブネットマスク

TCP/IP ネットワークは、複数の小さなネットワーク（サブネット）に分割されて管理されます。IP アドレスは、そのサブネットのアドレスと、個々のコンピュータのアドレスから構成されています。IP アドレスの何ビットがサブネットのアドレスかを定義するのが、サブネットマスクです。通信を行うパソコン同士で、同じ値を設定します。

■プロトコル

パソコン間でのデータの受け渡しを行うための手順や規則です。
データの送受信方法、通信エラー時の処理など、通信を行うために必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達が行えます。

■チャンネル

ワイヤレス LAN やステーションで通信するために使用する、ワイヤレス LAN の周波数帯を表します。

■ネットワークキー

データ通信を行う際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。
本パソコンはデータの暗号化／復号化ともに同一のネットワークキーを用いるため、通信する相手と同一のネットワークキーを設定する必要があります。

■ネットワーク名（SSID：Security Set Identifier）

ワイヤレス LAN ネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「ネットワーク名（SSID）」で行います。さらにセキュリティ強化のためにネットワークキーを設定し、「ネットワーク名（SSID）」とネットワークキーが一致しないと通信できないようになっています。

3 IP アドレスについて

IP アドレスの設定がわからない場合は、以下を参考にして、IP アドレスを設定してください。

■ネットワーク上にステーション（DHCP サーバー）が存在する場合

・Windows XP の場合、IP アドレスを設定する画面（••▶ P.26）で、「IP アドレスを自動的に取得する」に設定します。
・Windows 2000 の場合、IP アドレスを設定する画面（••▶ P.44）で、「IP アドレスを自動的に取得する」に設定します。

POINT

▶DHCP サーバーとは、ネットワーク上のパソコンなどに IP アドレスを自動的に割り振るサーバーです。アドホック接続では、DHCP サーバーは存在しません。

■ネットワーク上のパソコンに IP アドレスがすでに割り振られている場合

ネットワーク管理者に設定する IP アドレスを確認してください。

■ネットワーク上にステーションが存在しない場合

IP アドレスは、1 から 255 までの、4 個の数値で表します。
各パソコンに次のように設定します。() 内はサブネットマスクです。

＜設定例＞
パソコン A：192.168.100.2 (255.255.255.0)
パソコン B：192.168.100.3 (255.255.255.0)
パソコン C：192.168.100.4 (255.255.255.0)
：
：
パソコン X：192.168.100.254 (255.255.255.0)

4 仕様

項目	仕様
ネットワーク種類	IEEE802.11b 準拠（Wi-Fi 準拠）※1
転送レート	11/5.5/2/1Mbps（自動切換え）
使用周波数	2,400 ～ 2,473MHz
チャンネル数	11ch（そのうち 1ch を使用）
セキュリティ	ネットワーク名（SSID） ネットワークキー（64 ビット / 128 ビット）※2
ワイヤレスLANの最大接続推奨台数（アドホック接続時）	10 台以下※3

※印について

※ 1： Wi-Fi 準拠とは、ワイヤレス LAN の相互接続性を保証する団体「WECA」の相互接続性テストに合格していることを示します。

※ 2： ネットワークキー（WEP）による暗号化は上記ビット数で行いますが、ユーザーが設定可能なビット数は固定長 24 ビットを引いた 40 ビット / 104 ビットです。

※ 3： お使いになる環境によっては、接続可能台数は減少することがあります。

FMV-LIFEBOOK
ワイヤレス LAN をお使いになる方へ
（IEEE802.11b 準拠）

B5FH-5811-01　Z2-00

発 行 日　　2002 年 4 月
発行責任　　富士通株式会社